
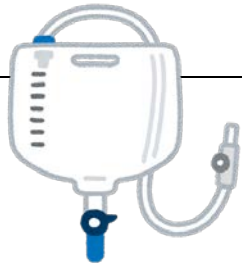




# HDR ブラキーを受ける患者様へ

様

	入院日 月 日	手術前日 月 日	手術日 手術前 月 日	手術後（針を抜くまで）	針を抜いた後
目標	手術を理解し、必要な準備が出来る。			手術後（針を抜くまで）	針を抜いた後
処置 検査	採血・検尿 心電図 呼吸機能検査 レントゲン 麻酔科受診  手術説明 月 日 : ~	毛剃り（陰部の全て）を 看護師でします。	7 時頃 浣腸をします。 8 時頃 スッキングを履いて、眼鏡 や入れ歯、指輪などの金属類を外 してください。  8 時 20 分 4 階の手術室へ向か います。 	手術が終わったら、針の位置確認のた めに地下の放射線治療室へ向かいま す。 11 時頃 病室へ戻ります。 <体の状態> 心電図、点滴、尿道の管（尿道カテー テル）、フットポンプが付きます。  12 時すぎ 放射線治療室に照射のた めに向かいます。 14 時頃 病室へ戻り、針を抜きます。	尿道カテーテルから水を 流し、膀胱内を洗いま す。 3～4 時間毎に体温、 血圧を測ります。
点滴 内服	下剤（マグミット）の内 服が始まります。	寝る前に下剤（センシ ド）の内服があります。	7 時まで、麻酔科の指示が出た お薬を少量の水で内服してくださ い。	照射治療の前に、痛み止めの筋肉注 射をします。 点滴が続きます。	20 時頃 抗生剤の点 滴があります。
活動	制限はありません。			ベッド上安静です。 横向き、起き上がりは出来ません。 お尻を上げる、足を激しく動かす動作も 出来ません。	ベッド上安静です。 横向きは出来ませんが、起 き上がりは出来ません。
食事	低残渣食になります。	夕食以降は食べることが 出来ません。 24 時まで飲水可能です。	0 時以降食べたり飲んだり出来ませ ん。	→	飲水が出来ます。
清潔	制限はありません。	毛剃り後、シャワーに入っ てください。			
説明	治療日程や、術前の必 要物品、術後の安静に ついて説明します。		ご家族は病室かテイルームでお待ち 下さい。 それ以外の場所で待機する場合 は、連絡先を看護師に教えてください。 貴重品はご家族に預けてください。		尿意が強い、お腹が張る 症状があれば、すぐにお 知らせください。

# HDR ブラキーを受ける患者様へ

	術後 1 日目 月 日	手術 2 日目 月 日	手術 3 日目以降～退院 月 日～
目標	手術後合併症なく過ごすことが出来る。		退院後の生活について理解出来る。
処置 検査	採血があります。 朝 心電図を外します。 歩行出来れば、フットポンプやストッキングも外します。  医師の許可があれば、灌流が終わります。 また、尿道カテーテルも抜きます。		熱が無ければ点滴の針を抜きます。  排尿状況に問題がなければ、退院となります。 退院前に、退院後の生活や気を付けてほしいことについて看護師から説明があります。
点滴 内服	医師の指示があれば、内服を再開します。  点滴は 11 時頃に一旦終わります。 抗生剤が 10 時と 20 時にあります。	抗生剤が 10 時と 20 時にあります。	
活動	朝から起き上がり、歩行が出来ます。 最初は看護師と共に行きます。 その後、制限はありません。	制限はありません。 お腹に力かける動作は避けましょう。	
食事	朝から食事が出来ます。 特に制限はありません。		
清潔	朝 体拭きを行い、服を着替える介助を行います。	シャワーに入れます。 シャワー前に点滴の針は防水します。	入浴が出来ます。 極端に熱い風呂や長風呂は避けてください。
説明	尿道カテーテルが抜けた後は、尿が出にくくなる場合があります。尿が出ない場合、すぐにお知らせください。 傷口の治りやお腹の動きをよくするため、早期に活動出来ることを目指します。 体調に考慮しながら体を動かしていきます。	水分は 1000～1500ml 程度摂取するようにしましょう。 尿が出にくい、排尿痛がある、血尿が強いことがあればすぎにお知らせください。	